

ふくよか

地域で支える医療と介護

2025 | 春号 ■長崎県病院企業団本部
■令和7年4月発行



島原武家屋敷(島原市)

CONTENTS

- P1 ————— 企業長より
- P2 ————— 寄付にかかる感謝状の贈呈・医療功労賞
- P3 ————— 特集1 | 令和7年度当初予算の概要
経営改善とDXの取組
- P4 ————— 特集2 | 幹部看護師初任者研修
人事給与システムの導入
- P5 ————— 休暇制度の改正・外国人技能実習生
- P6 ————— 退職者あいさつ
- P7 ————— BREAK TIME

「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの願いが込められています。

3つの話

1. 種の起源 2. SDGsの新解釈 3. 辞めたいと思った数

長崎県病院企業団企業長 八橋 弘

4月になりました。新年度が始まり、多くの職員が長崎県病院企業団に入職されました。医師に関しては、今後6年間、毎年20名以上の若手医師が新たに企業団に所属することが決まっています。彼らは9年間近く長崎の地域医療を支えてくれる頼もしい仲間です。また企業団には、地域医療の看護を目指して入職された新人看護師に加えて、一度島を離れても海恋しさに地元に戻ってきた看護師も大勢おられます。定期的に更新される企業団ホームページのVIVANTナースの手記の中に「離島ではできない」ではなく「離島の看護師だからこぞできる」(※1)という言葉を見つけました。とても嬉しく、また頼もしく思っています。新年度を迎えるにあたり、3つの話を紹介します。

1・種の起源 皆さんは『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのでもなく、唯一、生き残る者は変化できる者である』という言葉が聞かれたことがあるかと思いますが。進化論で有名なチャールズ・ダーウィンの「種の起源」という著書の中に書かれていると紹介する方がおられますが、それは正しくありません。アメリカのビジネスマンであるレオン・C・メギンソンが、ダーウィンの理論に基づいて、1963年にアメリカの南西部社会科学会大会でのスピーチの中で表現した、というのが初めてと言われています。しかし、その言葉がアメリカで注目されたのは1993年のことでした。当時、百年以上の歴史と実績のあるIT分野の世界企業であるIBMは、シェア・利益ともに大き

く落ち込み、苦境に陥っていました。IBMは自己満足に陥り、怠惰で、動きも鈍くなり、急速に変化するIT市場の動きについていけなくなっていました。その時、IBMの元会長であるルイス・ガーズナーは、全従業員に向けて『唯一、生き残る者は、変化できる者である』という言葉を発表したと言われています。一方、日本でこの言葉が広く知られるようになったのは、2001年9月の衆議院本会議における小泉純一郎首相の所信表明演説でした。小泉首相はその言葉を掲げ、当時の郵政改革を推し進めました。現在、医療を取り巻く環境は日々大きく変化しており、病院も病院職員もその変化に対応していかないと生き残れないと私は考えています。

2・SDGsの新解釈 厚生労働省医政局長と審議官を歴任され、現在神奈川県立保健福祉大学理事長の大谷泰夫先生が最近書かれたエッセイの中に、SDGsの新解釈が紹介されています。通常、SDGsとは(Sustainable Development Goals)の略であり、国連が掲げる「持続可能な開発目標」です。具体的には①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、など17個の目標があります。しかし、大谷泰夫先生は、長期低迷し世界水準から取り残された今の日本の現状を考えると、日本に必要なのはSustainable(持続可能な)ではな

くSurvival(生き残る)であると提案されました。私も、今の病院に必要なSDGsのSはSustainableではなく、Survivalだと考えています。病院経営が厳しい中、病院は存続し続けること、生き残ることが求められています。長崎県病院企業団は、その設立目標と存在意義からして、これからも生き残る病院群のひとつと考えています。加速する人口減少と高齢化、厳しい医療環境の変化に対応する為には、空床となった病床の削減や病棟の再編、診療機能のコンパクト化が必要です。その一方で、医療の質を向上させつつ、予防医学や検診部門の充実、訪問看護や訪問診療など、地域医療のバランスを保ちながら新たな取り組みを行うことも大切と考えています。

とがありました。「辞めたい」と思った数は乗り越えた数(※2)という言葉があります。この言葉によると私が乗り越えた数は1回のみ、少ないなあと思いましたが。皆さんが仕事を辞めたい、病院を辞めたいと10回思ったのであれば、その乗り越えた数は10回になります。毎日の医療の仕事、病院での仕事には過酷なものがあります。しかし、その過酷さを乗り越える原動力となるのは、患者さんの笑顔と伝わってくる感謝の気持ち、新たな生命の誕生に立ち会う充実感、生命を救ったという醍醐味、人生の最後を見届ける死の臨床における充実感です。最近、笑顔が消えた後輩を見かけたら、この言葉を伝えていたいただきたいと思っています。

3・辞めたいと思った数 職員の皆さん、今までに仕事を辞めたい、病院勤務を辞めたい、と思われたことがあるかと思いますが。皆さん、その回数が何回だったか数えたことがありますか？私は今まで医者辞めなといいけないかもしれないと思ったことはあっても、医者を辞めたいと思ったことは一度もありませんでした。ただ、前任の病院に36年間勤務して一度だけ病院を辞めたいと思ったこ

最後に、新年度を迎えて私たちは、新たに加わった仲間とともに共に手を取り合い、長崎県病院企業団の発展と患者さんのために邁進していきましょう。

上廣倫理財団へ感謝状を贈呈

2月21日に八橋企業長が上廣倫理財団(東京)を訪問し、これまでの離島医療へのご理解に感謝し、多額のご寄付をいただいたことに対して感謝状を贈呈し、お礼のことばをお伝えしました。

公益財団法人 上廣倫理財団におかれては、病院企業団の離島医療確保の取組に対して深い理解をいただくとともに、今回助成事業により、奈良尾医療センター、有川医療センター、奈良尾医療センターの3診療所に医療機器購入のための多額の寄付を賜りました。このような大変ありがたいご寄付をいただき、誠にありがとうございました。病院企業団として、これまで以上に離島医療の取組に邁進してまいります。

公益財団法人 上廣倫理財団の取組

上廣倫理財団におかれては、これまで国際的視野のもと、倫理に関する学術研究、教育活動や社会活動の振興を通じて社会の発展に寄与することを目的に活動されています。海外の事業では、オックスフォード大学に研究所を寄付し、医療倫理の研究を促進し、国内では京都大学IPS細胞研究所に、IPS細胞における倫理的課題を研究する部門を寄付されています。

そのような中、医療の振興には、深刻な課題を抱える医療現場に目を向けなければならないとの考えから、本県を含む離島へき地医療が抱える、アクセスや医療の黒字化が難しい等の課題に着目され、寄付による医療機器等のサポートを行う事業を立ち上げられました。



医療功労賞

この度、上五島病院の平瀬和廣主任技師(臨床検査技師)が、地域医療への長年の貢献が称えられ、「第53回医療功労賞」(読売新聞社主催)を受賞されました。誠にありがとうございます。

今後も地域医療のため、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



引用

※1 VIVANTナース Vol.14(五島中央病院 久保さん)
※2 牛乳石鹸共進社 2016年 コピーライター 矢野 貴寿さん(電通関西支社)

幹部看護師初任者研修

1月16日～17日に長崎市内において、病院企業団の看護師長を目指す副看護師長、昇任3年目以内の看護師長18名が出席し、幹部看護師初任者研修を実施しました。

1日目

1日目は、企業長の講話や企業団の実情を学び、また、組織マネジメントについて講義を受けました。

- ① オリエンテーション
- ② 八橋 弘企業長による講話
- ③ 講義 「企業団病院の現況・中間管理者への期待」
馬場 秀喜 副企業長
- ④ 講義 「企業団病院の台所事情について」
本部企画経営班 溝上 翔太郎 主任主事
- ⑤ 講義 「組織マネージメントと実際」
長崎大学病院 小淵 美樹子 副病院長兼看護部長



2日目

2日目は、講義とワークショップ(ロールプレイ)があり、病院企業団職員として、中間管理職へ期待すること、経営管理、人事・組織管理、フィードバック方法などを学びました。

- ① 講義 「企業団病院の服務・業務管理について」
本部総務人事班
- ② 講義 「フィードバックについて」
貞方 三枝子 看護管理監
- ③ ロールプレイ 「ある事情を抱えた職員にどう指導(対応)するか」



2日間の研修を終え、受講者は管理者としての基本的なスキルを習得しました。これからはその知識を現場で活かし、さらに活躍されることを期待しています。

の防止につながることが期待されます。

③ 給与計算の機能

登録された人事情報(職種毎の手当)、電子申請のあった情報や勤怠実績情報から月例給与や賞与を自動的に計算します。勤怠情報などの一括取込機能は、担当職員の業務負担を軽減し、支給漏れや算定誤りの防止につながることが期待されます。

② 人事情報の管理機能

職員の職種・勤務時間といった基本情報、給料表などの給与情報、休暇・休業情報などをシステム上で一元管理することで、人事記録の作成や辞令の即時出力などを行うことができます。

① 電子申請機能

《新たなシステムの主な機能》

これまで紙で申請していた通勤手当や扶養手当の申請などをスマートフォンやパソコンから行い、システム上で電子決裁するなど、申請から承認までの一連の作業が電子化されます。また、承認後の情報が自動的に給与情報として登録されます。

人事給与システムの導入

今年4月から新しい「人事給与システム」が稼働しています。これまで病院企業団本部や各病院が紙での手作業や別々のシステムで管理してきた人事情報の管理、給与計算や休暇申請処理を統一したシステムで行うことで、担当職員の業務の集約化・効率化や負担軽減につながるだけでなく、職員の皆さんの一部手当てや人事評価の電子申請入力が可能となり利便性が向上します。

令和7年度当初予算の概要

令和7年3月定例会議会において、令和7年度病院事業会計(当初予算)が可決・成立しました。予算の対前年度比較は、医業収益の862百万円の減、医業外収益の522百万円の増などにより総収益(A)は357百万円の減少、医業費用の874百万円の増などにより総費用(B)は866百万円の増加となり、経常損益(C)は1,209百万円減の△1,130百万円、純損益(D)は1,223百万円減の△1,168百万円となります。

令和5年度以来の赤字予算ですが、医療の質の維持・向上、島内で治療可能な患者の島内での受診を促進する「郷診郷創」の取組などを進めるとともに、今後も職員一丸となってさらなる経営改善に取り組んでまいります。

(単位:百万円、%)

区 分	R6年度 当初予算①	R7年度 当初予算②	増減	
			増減額 ②-①:③	伸び率 ③/①
総 収 益(A)	33,624	33,267	▲ 357	▲ 1.1
経常収益	33,562	33,222	▲ 340	▲ 1.0
医業収益	28,051	27,189	▲ 862	▲ 3.1
うち入院収益	17,623	16,961	▲ 662	▲ 3.8
うち外来収益	8,547	8,305	▲ 242	▲ 2.8
うちその他医業	1,336	1,320	▲ 16	▲ 1.2
医業外収益	5,511	6,033	522	9.5
うち繰入金	3,650	4,007	357	9.8
特別利益	62	45	▲ 17	▲ 26.8
総 費 用(B)	33,569	34,435	866	2.6
経常費用	33,483	34,352	869	2.6
医業費用	33,044	33,918	874	2.6
うち給与費	17,539	18,354	815	4.6
うち材料費	6,601	6,462	▲ 139	▲ 2.1
うち経費	6,066	6,221	155	2.6
うち減価償却費	2,571	2,619	48	1.9
医業外費用	439	434	▲ 5	▲ 1.1
特別損失	85	82	▲ 3	▲ 3.4
予備費	1	1	0	11.1
経常損益(C)	79	▲ 1,130	▲ 1,209	
当年度純損益(D)	55	▲ 1,168	▲ 1,223	

※注1) 医業外収益・費用は、訪問看護ステーション事業の収益・費用を含む。

※注2) 百万円未満の端数処理の関係で一致しない箇所がある。

～レッツ経営改善・DX～

経営改善について、総務課長会議(1月)では、佐世保市総合医療センターの寺松祐子経営企画課長から同病院の取組について説明を受けました。医事担当係長等会議(2月)では、医事担当職員から、それぞれの立場で新入院患者の確保対策、新規加算の取得、DPCコーディングの適正化、ベッドコントロールの他部署との連携などについて発表し、活発な意見交換を行いました。

DXについては、総務課長会議で日本赤十字社長崎原爆病院にRPA(Robotic Process Automation)の視察を行いました。これはパソコン上で一連の作業を効率化してくれる“ソフトウェアのロボット”です。ルーチンワークを自動化することで日々の業務の作業短縮・職員の負担軽減が期待され、生産性の向上が見込まれます。島原病院では既にRPAの取組が始まっています。

長い間ありがとうございました

3月に病院企業団全体の送別会が行われ、今回は退任される小原則博富江病院長、退職される幹部職員の皆様をお送りしました。

退職される皆様におかれては、これまでの企業団への多大なご貢献に感謝申し上げるとともに、

今後ますますのご健勝及びご多幸をお祈りしております。

ご退職される4名の方からご挨拶をいただきました。

本部 看護管理監 貞方 三枝子



この度、長崎県病院企業団本部の看護管理監を退任することになりました。3年間という短い期間ながら、大変お世話になりました。

前任者が築いてきたものを少しでも発展できるように、各病院の看護職員(特に管理者)と力を合わせ進めてきました。何ができたか?各

施設の看護職員特に管理者の育成、企業団病院職員の“一体化”に努めてきました。地域医療を支え奮闘している看護職員に対し、自分が“実践している看護”に自信を持つことを言い続けてきたように思います。また、アイランドナースネットワーク事業の拡大や企業団HPに看護部門を開設できたことは、嬉しかったことの一つです。企業団病院の魅力発信に役立つことを願っています。やりがいのある楽しい3年間でした。

末筆ながら、今後ますます発展していく企業団であることを祈念しています。

五島中央病院 事務部長 河野 完治



令和4年4月から3年間、五島中央病院で勤務させて頂きました。赴任当時は新型コロナウイルス第6波まん延の真っ只中。次から次へと押し寄せる波も政治判断で収束となり、令和5年5月には感染症法上の区分が2類から5類へ変更となりましたが、私たち医療機関においては、その日を境に何かが変わる訳でも無く、次のまん延が起こらないように自他ともに現在も感染予防管理を続けておられます。病院理念にあります「地域医療に貢献、信頼される医療の提供」その実践に職員の皆様のご努力・ご尽力に心から敬意を表します。

今後も少子高齢化、人材不足、人件費・物価高騰、固定資産の老朽化等厳しい状況は続きますが、五島中央病院は地域の為に存続していかなければなりません。皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念しております。3年間本当にお世話になりました。

今後ますます発展していく企業団であることを祈念しています。

対馬病院 事務部長 木野田 吉久



この度、役職定年を迎え退職することになりました。約37年間の指導ご支援に心から感謝申し上げます。

昭和63年に長崎県離島医療圏組合に採用され、上対馬病院でキャリアを始めました。特に対馬いづはら病院では、未収金回収業務や法的手続きを学びました。対馬病院での約10年間では、総務課長兼財務係長、事務部長として貴重な経験を積みました。

今後も新たな挑戦を続け、皆様のご支援の下、他人様のお役に立ちたいと考えています。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。長い間、ありがとうございました。

上対馬病院 事務長 宮原 則人



大学を卒業後、福岡で働いておりましたが対馬に帰りたくて、昭和63年9月長崎県離島医療圏組合上対馬病院の総務係に転職しました。

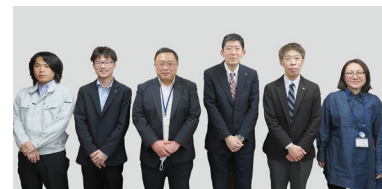
対馬に骨を埋めるつもりで結婚し、子育てをしながら家を建てました。45歳で管理職になるまでは、楽しく過ごしておりましたが、管理職になってからは

楽しいと思うことが少なくなりました。そんな時に中对馬病院へ異動。中对馬病院では刑事事件や紙面には書けないようなことに遭遇し、話題にこと欠かない毎日。とても有意義な3年間でした。その後、上対馬病院に戻って10年。13年間の単身赴任を終えて、家族のもとに帰ります。上対馬病院と中对馬病院に育てて貰い、養って頂き、皆様には、「感謝の気持ちでいっぱい」です。ありがとうございました。

今後ますます発展していく企業団であることを祈念しています。

総務部長 庄崎 鉄也 企画経営班 課長補佐 橋口 宏徳
総務人事班 課長補佐 岡山 剛 主任主事 藤田 勇樹
係長 古賀 裕香梨 主任主事 坂下 恭平

昨年度末をもって本部から県や各病院へ異動された方々です。大変お世話になりました。



働きやすい職場環境づくり (休暇制度の改正)

今年3月、4月から休暇制度の一部を改正しています。職員の皆さん、年次休暇などを計画的に取得していきましょう!

R7.3.1の改正

「こども看護休暇」の取得要件を緩和

入園式、卒園式、入学式、卒業式といった式典に参加する場合も取得できるようになりました。令和6年度からの卒園・卒業式でも取得できるよう3月1日から改定しています。

R7.4.1の改正

職員の年次休暇付与日を年度(4月1日)に統一

正規職員、再任用職員、会計年度任用職員の全ての職員の皆さんの年次休暇付与日を4月1日に統一しました。これにより学校行事などが多い年度当初から年次休暇が取得しやすくなります。4月に採用される皆さんにも20日付与されます。

会計年度任用職員の「病気休暇」を有給化

病気休暇(私傷病)について、10日の範囲内で有給化します。これとは別に、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、これまでどおり一定期間は有給です。病気休暇の総付与日数は、有給の休暇と無給の休暇を合わせて90日となります。

病院で働く技能実習生 ～五島中央病院～

病院企業団では、介護職員としてミャンマーから外国人技能実習生を受け入れています。今年1月から五島中央病院では、初めての受け入れとなる2名の方が活躍されていますので、インタビュー形式でご紹介します。



Q 介護の技能を学ぼうと思ったきっかけは?

A ● 高校生の時、ボランティアでおじいさんやおばあさんのお世話をしたことがあります。着替えなど、自分ではできないことを手伝ってあげたら嬉しそうにしてくれたのを見て、私も嬉しかったです。介護の仕事も、お年寄りのお世話をする仕事なので、私に合うと思って、介護の技能を学ぼうと思いました。
●一緒に住んでいた祖母のお世話をしたことがあります。祖母ができないことを手伝うことができて、嬉しかったです。また、介護の仕事は、他の仕事より言語が必要だと思います。私は日本語に興味があり、日本語をもっと話せるようになりたいです。そのため、介護の技能を学ぼうと思いました。

Q 技能実習の経験を活かして考えるあなたの夢は?

A ● 日本での経験をミャンマーの人達に伝え、ミャンマーに介護施設を作りたいです。
● 私の夢は、介護福祉士になることです。できれば、日本で長く働きたいです。母国に帰っても、介護技術を活かして施設を作りたいです。

Q 実習期間でやりたいことや目標があれば教えてください。

A ● 日本語能力試験をN-1レベルまで合格できるように頑張ります。
● 日本語能力試験をN-2レベルまで受けて、介護福祉士の試験に合格できるように頑張りたいです。そして、日本語能力試験のN-1レベルも続けて勉強したいです。

Q 実習の中で嬉しかったことや困ったことは?

A ● 人対人の仕事なので、その人に合った介護の仕方を見つけることが困るところだと思います。実習の中で、入院した患者さんから「ありがとうございます」「お世話になりました」と言われたことが嬉しかったです。
● 実習の中で、ベッドメイキングを初めて行って、難しかったです。毎日色んなことに注意して、頑張っています。先輩達が、仕事をきちんと教えてくれるので、少しずつ慣れてきました。以前より仕事ができるようになったり、先輩達が「上手ですね」と言ってくれたりした時、とても嬉しかったです。

Q 一緒に働く企業団職員へメッセージをお願いします。

A ● いつもお世話になっております。皆さんと一緒に働くことを大変嬉しく思います。日々の業務の中で、皆さんのことを学ばせていただいております。これからも、お互いに協力しながら、患者様のためにより良いケアを提供できるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。
● 日本語にあまり慣れていないので、時々仕事で言語が分からないこともありました。難しいこともたくさんありました。でも、皆さんがゆっくり話したり、仕事のことや色々な知識をたくさん教えてくれるので、感謝しています。毎日色んなことに注意して、もっと上手になれるように頑張ります。最後まで、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これからも病院での活躍が期待されます。
今後ともよろしくお願いいたします。

長崎の巨樹・巨木

今年は原爆投下から80年。昨年末、日本原水爆被害者団体協議会へノーベル平和賞が授与されましたが、被爆者の高齢化が進み、最後の被爆地である長崎県民としては、これまで以上に核兵器のない平和な世界の実現に向けた努力が求められていると思います。

「人々の営みを、喜びを、かなしみをただ見届けて」、福山雅治さんが2014年に発表した楽曲『クスノキ』。この曲のモチーフとなったのは、長崎市内の山王神社にある被爆クスノキです。原爆による被災で一時は枯れ木同然になりながら、奇跡的に樹勢を盛り返し、今では枝葉が豊かに茂り、その生命力を漲らせています。私も何度か訪れましたが生きる力を分け与えてくれるかのようなクスノキです。長崎市の天然記念物に指定されており、樹齢は600年以上といわれ、幹回りが8m40cmもある巨樹です。

古くから長い年月を生きている樹木には精霊(木霊)が宿るとされ、宮崎正隆氏『木霊の宿る空間(2001年)』には県内の多くの巨樹・巨木が紹介されています。私も若い頃、植物学者である伊藤秀三先生の県内調査に同行する機会を得て、これらを訪れる度に、こころ癒される巡礼の旅のような気持ちになりました。新緑が目覚ます春。今回は県内の巨樹・巨木の天然記念物をご紹介します。

長崎市内で有名なのが「大徳寺の大クス」、近くの梅ヶ枝焼餅屋さんにも有名です。このクスノキは県下第2位の巨樹で樹齢は800年



山王神社の大クスノキ(長崎市)

前後、根回りは20mを超えています。市内ではこのほか「デジマノキ」は、国文化財「出島おらんだ阿蘭陀商館跡」内にあり、東南アジア一帯に自生するナンヨウスギ科アガチス・アルバノ



BREAK TIME



の学名を有するもので、かつてオランダ人が東洋貿易の根拠地としたジャカルタ地方から出島に移植した記念樹で日本に唯一の木です。

次に諫早市内にある「女木木集落の大スギ」、もともと2本だった夫婦杉で、明治時代にその1本が台風で倒木。樹齢700年以上といわれ、根周り16mの県内最大のスギです。私は最初にこのスギを見上げた時、その威風堂々とした姿に言葉を失ったことを今でも覚えています。「森山西小学校のアベマキ」は大陸系の植物で樹皮からコルクを採ることができ、「コルクの木」とも呼ばれたりします。樹齢は100年程度とアベマキとしては珍しく巨木で、国道沿いの比較の見学しやすい場所にあります。

島原半島では、日本一海に近い駅として最近有名な大三東駅近くの有明町の大クスは、県内最大の樹木で樹齢はおよそ千年。県内では神社や寺に植えて大木になったものが多い中、民家内にあります。国見町にある歴史的な街並み神代小路近くの長栄寺のヒイラギは、県下最大のもので樹齢は400年程度と推定され、老木のため葉は全て丸くなり棘がありません。人間と同様、歳を取ると木も丸くなるのだと感心しました。このほか興味深いものとして、五島の久賀島のツバキ原生林、檜の浦や奈良尾のアコウ、青方のウバメガシ、壱岐安国寺や対馬万松院のスギ、上対馬の琴の大イチョウなど紹介できないほどありますので、この続きは次回以降で。

今回も最後に心に残った一言、昔から日本や中国には「知足(足ることを知る)、知足安分」という言葉があります。決して欲張らず、今あるものに感謝しながら生きていくこと。テレビで見るタワマン・高級外車の方々、自給自足をされる方々、どちらの人生が豊かなのか少し考える今日この頃です。(文:副企業長 馬場秀喜)

編集後記

この度、人事異動により6名の方が、本部を去ることになりました。お別れが大変名残惜しいですが、皆さまの新天地での益々のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

また、新しく本部に6名の方が赴任されました。これから一緒にがんばっていきましょう! [Y.I.]

表紙・裏表紙写真提供:(一社)長崎県観光連盟

令和7年4月発行
編集・発行/長崎県病院企業団本部
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
[URL] https://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp

◎上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を どんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団
ホームページ

